



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

# 嘉手納町 教育委員会だより

令和7年1月発行 嘉手納町教育委員会



## 子どもたちの「学び」を変える学校の挑戦！

新年の幕開け。今年は「巳年」です。「巳年」は、蛇が脱皮を繰り返して成長することから、「生まれ変わる年」「無限の可能性のある年」「強い生命力にあふれる年」と言われています。令和6年度、教育委員会は文部科学省が示す教育改革の本丸、学校の「授業改善」に取り組んでいます。将来の変化を予測することが困難な時代に、自らの生涯を生き抜く力を培っていくには、これまでの学びの在り方を変えなければなりません。これまでの教師による一方向の一斉授業スタイルは、子どもたち一人ひとりに合う学びを届けることには限界があります。そこで、一人一台のパソコン（タブレット端末）をフル活用して、個々のスピードに合わせて、自分のペースで自分から学ぶ、そして沢山の人と対話して、助け合って共に学び合う教室へと転換していきます。これまでの「そろえる」教育から一人ひとりを「伸ばす」教育へと変えていきます。

### 今までは…

「みんな一緒に 同じことを 同じ方法で」



### これからは…

「自分のペースで自分で学ぶ」

「学び合って、助け合って、共に学ぶ」



## 嘉手納町新春もちつき大会 子供も大人もみんなでべったんこ

恒例の新春もちつき大会が、1月12日にロータリー広場で行われました。新春もちつき大会は、青少年指導員のみなさんが主催し、新しい年を迎えたことへの喜びと、町民の皆さんの幸せを願って毎年行われています。今年は第20回目の節目を迎え、嘉手納中学校の吹奏楽部が軽快な音楽を演奏し、大会を盛り上げてくれました。大会には、子供から大人まで幅広い世代が参加。子供たちももちつきに挑戦し、初めてのきねを持って「よいしょー、よいしょー」と威勢のいいかけ声を響かせていました。この後、中学生を含むボランティアの皆さんが作った、磯部、シナモン、きな粉もちやお雑煮が振舞われ、参加者はおもち料理を口に頬ばり、舌鼓を打っていました。この日、用意したお雑煮600食、お餅200kgがあったという間になくなりました。



## 嘉手納町はたち集い 時代の潮流を生み出すのは、いつの時代も若い力！



1月12日、令和7年「はたちの集い」が、かでな文化センターで開催されました。浦崎直哉教育長は「偉大な先人たちも若くして大きな決断をし、歴史を作ってきています。自分自身としっかり向き合い、夢に向かい行動し、歩みを進めてください」と挨拶しました。はたち代表として前田場モアさんは「大人としての責任を自覚するとともに、社会を支える一員として役割を果たしていくことが使命だと考えています。このような盛大な式をご用意いただいた皆様、これまで私たちの成長を支えてくださった家族や先生方、そして地域の皆様に深く感謝を申し上げます。これからの私たちの歩みを、どうか暖かく見守り、引き続きのご支援を賜れば幸いです」と答辞を述べました。(広報かでな2月号より)

## 屋良小学校公開授業・実践報告会 一人の百歩より百人の一步の前進！

1月20日、屋良小学校でリーディングDXスクール事業の公開授業及び研修会がありました。本校では、1年生から6年生まで授業を公開し、研修会では、信州大学の佐藤和紀准教授と学校DX戦略アドバイザー大城智紀先生から講評及び指導助言がありました。※町外から200名余の先生方が参加！



デザイン画をもとに工作する1年生



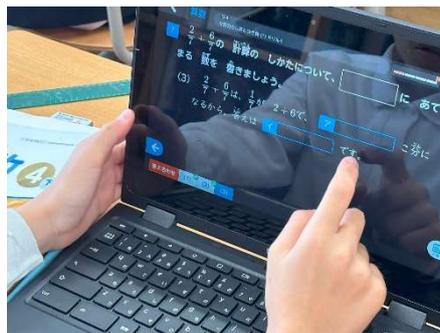
デジタル教科書の活用



教師による寄り添い支援



集めた情報を分析する児童



分数の足し算の計算をする児童



研究協議する小中の先生方

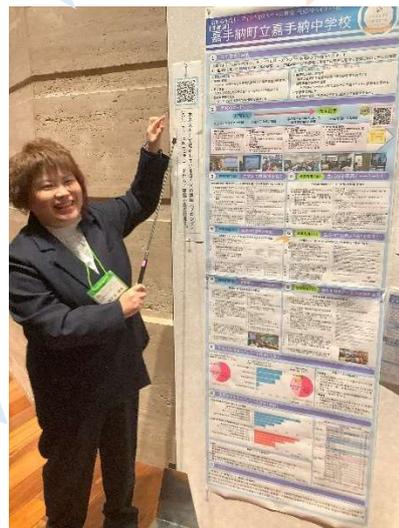
# 生成AIパイロット校成果報告会 全国 64 校の小中高校が実践発表！

文部科学省リーディングDXスクール事業の生成AIパイロット校の成果報告会が、1月22日に東京大学本郷キャンパス内の伊藤国際学術研究センターで開催されました。この報告会で、東太田理恵教諭が嘉手納中学校の取り組みをポスターで発表しました。

教育現場では様々な業務が増加し、教職員の負担が増えています。そこで、本校では生成AIを活用し、校務の効率化と質の向上を目指しています。

現代社会は情報にあふれています。その中で、子どもたちには情報の信頼性を見抜く力や、情報を鵜呑みにせず批判的に考える力が求められます。生成AIは、様々な情報に触れる機会を提供し、その真偽を判断する力を養うのに役立ちます。

アンケート集計や報告書作成など、これまで多くの時間を要していた作業を生成AIがサポートします。これにより、教職員の業務負担を軽減し、より生徒と向き合う時間や教材研究に時間を費やすことができるようになります。

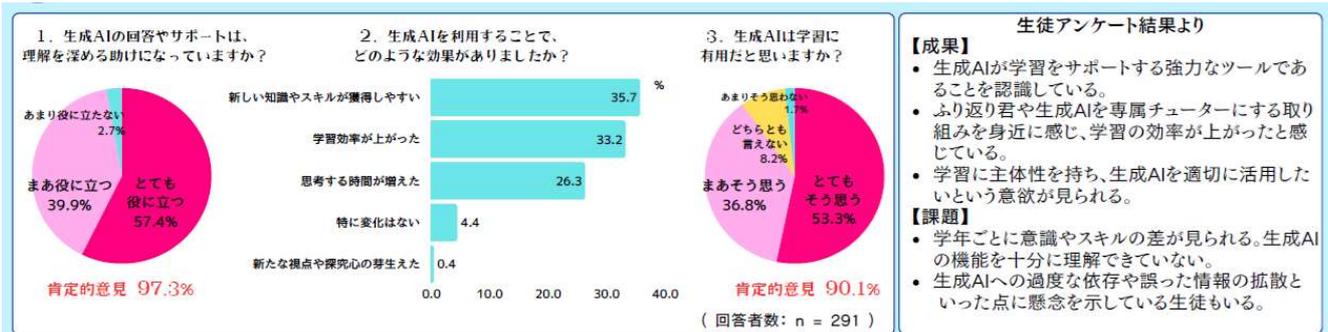


子どもたち一人ひとりの学習ペースや興味・関心は異なります。生成AIを活用することで、一人ひとりに合った学習内容や方法を提供し、より効果的な学びをサポートします。

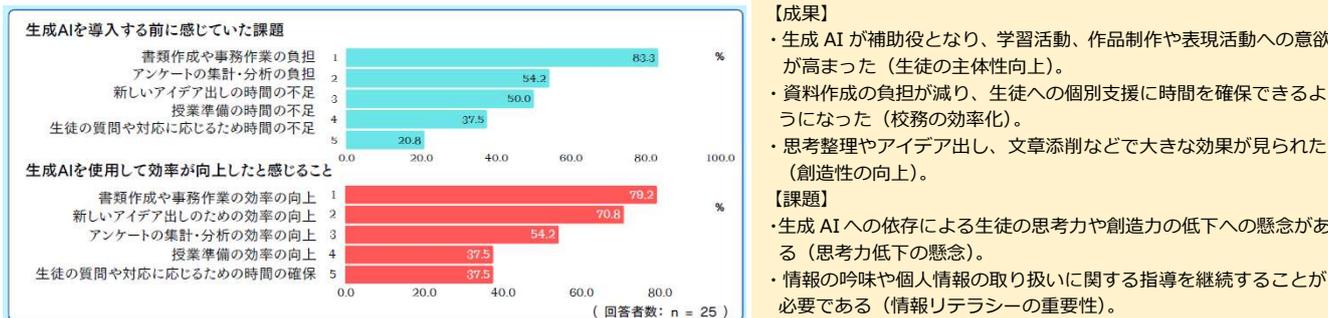
新しい技術に触れることは、子どもたちの好奇心を刺激し、学習意欲を高めます。生成AIを各教科の授業で活用することで、これまでとは違う視点から学習内容に触れることができ、学ぶ楽しさを感じてもらうことを目指しています。

生成AIを活用することで、より質の高い校務を実現します。例えば、アンケート結果の分析や報告書作成において、これまで気付かなかった視点やアイデアを得ることができます。また、生成AIが作成した文章を参考にすることで、より分かりやすく説得力のある文章を作成することができます。

## ◎生成AI使用後のアンケート結果（生徒）



## ◎生成AI使用後のアンケート結果（教師）



## おめでとう！スポーツ推進委員功労者表彰

昨年 11 月に宮崎県で、「第 65 回全国スポーツ推進委員研究協議会宮崎大会」が開催されました。この大会は、全国のスポーツ推進委員が一堂に会して、スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図り、スポーツの振興に資することを目的とした大会です。この大会では、表彰式もあり、長年スポーツ推進委員として頑張った、本町のスポーツ推進委員、奥間尚さんが功労者表彰を受けました。おめでとうございます。



## 私たちが考える安全で安心な明るいまちづくり

昨年 12 月 4 日、「第 74 回社会を明るくする運動・作文コンテスト」において、優秀な成績を収めた嘉手納小学校と嘉手納中学校の児童生徒が嘉手納町役場を訪れ、受賞の喜びを町長に報告しました。

最優秀賞 我謝 友弥（嘉手納小 6 年）

優秀賞 金城 有杏（嘉手納小 6 年）

安村 愛菜（嘉手納中 1 年） 金城 優和（嘉手納中 1 年）



## 社会、世界が求める「ICTを活用した問題解決力」の資格試験

1 月 15 日、「ICT プロフィシエンシー検定試験（通称：P 検）」で、3 級及び準 2 級に合格した嘉手納中学校の生徒 4 名（3 年生）による報告がありました。以下に P 検に合格者した生徒を紹介します。

【準 2 級】 亀島健士郎

【3 級】 新垣珠里、堀江梅華、亀島健士郎  
コッペイジ サナイヤニ 紫英



「ICT プロフィシエンシー」とは、ビジネスシーンで要求される ICT 活用に関する知識や技能、問題解決力などの実践力を意味します。P 検は、その実践力を測定する資格試験です。指導にあたった技術科の新城豊教諭、パソコン指導員の山口健さんは、早朝や放課後の時間を利用して、勉強会や実技指導などを行い、試験当日まで生徒をサポートしてくれました。

## 駅スタンプアプリ「エキタグ」沖縄上陸！ 嘉手納駅って知ってる？

株式会社ジェイアール東日本企画が提供する駅スタンプアプリ「エキタグ」に、終戦直前まで沖縄本島の生活や流通を支えていた「沖縄県鉄道」の廃線跡を巡る「鉄道遺産シリーズ沖縄県鉄道」が登場（沖縄都市モノレール「ゆいレール」もデビュー）。沖縄県の今と昔をたどる旅の記念にスタンプを集めてみませんか。また、旅好きな人にとっては、日本中の駅スタンプを集めることもできます。興味のある方は、アプリをダウンロードしてください。「嘉手納駅」のスタンプ（エキタグ）は、歴史民族資料室（かでな未来館）に設置しています。これを機会にデジタル駅スタンプを集めてみませんか。お気軽にお立ち寄りください。（町史文化財係）

アプリの  
ダウンロード

